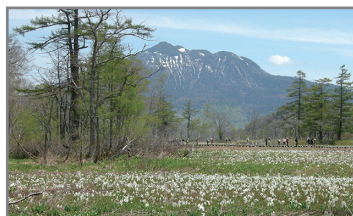


尾瀬ハイキングマップ



観光スポット



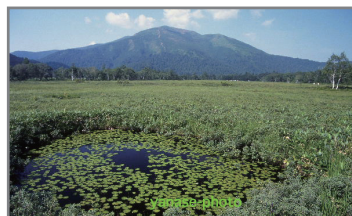
山の鼻

山小屋・ビジターセンター。食事・休憩が可能。ビジターセンターではレンジャーが常駐しています。また、スライドや映画が随時上映されています。



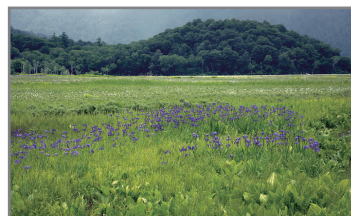
尾瀬研究見本園

尾瀬ヶ原の西南端。山ノ鼻と隣接する研究見本園は湿原を30分程度でまわることができる。湿原の様々な姿を凝縮したような湿原であることからこの名前が付いていますが、実際には人の手の加わっていない尾瀬の自然の一部です。



至仏山

標高2228.1m、日本百名山のひとつ。オゼソウ、ホソバヒナウスユキソウ、タカネバラ等の高山植物が有名。尾瀬一帯を見下ろすことができる。山が蛇紋岩でできているため、特殊な蛇紋岩植物と呼ばれる植物群が育成することで植物ファンに名高い。



牛首分岐

山の鼻から尾瀬ヶ原を進むと、最初の木道の分岐点。この分岐の付近に牛の首のように山が湿原にせり出している場所があり、「牛首」と呼ばれています。比較的広いベンチがあり、多くの方が休憩を取っています。



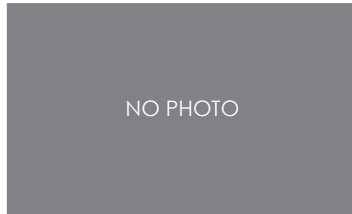
ヨッピー吊り橋

「ヨッピー」という言葉の語原は、アイヌ語で「呼び」「別れ」「集まる」といった意味があると言われてしています。ヨッピー川は、その名にふさわしく川上川、猪又川、上ノ大堀川、下ノ大堀川、沼尻川と尾瀬を流れる多くの川が集まったものです。



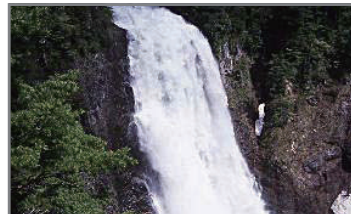
竜宮

尾瀬独特の不思議な名所です。「竜宮」とは伏流水のことで、流れてきた川が一旦、湿原の下に吸い込まれて伏流水となり、木道を隔てた反対側に湧き出しています。名前の由来は、この伏流水のトンネルが竜宮に通じているのではということからこの名前があります。また、増水時には入口で渦を巻きながら水を吸い込んでおり、竜の口に似ていることから「竜宮」となったという言い伝えもあります。尾瀬ヶ原に日帰りて来られた方の多くがこのベンチでお弁当を食べて引き返して行きます。



平滑ノ滝

尾瀬ヶ原と尾瀬沼のイメージ・魅力とはまったくといっていいほど異なるのが平滑ノ滝と三条ノ滝。これが尾瀬かと思うほど豪快です。平滑ノ滝は尾瀬ヶ原の一番東の端から北に向けて新潟県と福島県の境を流れる只見川にある滝。広大な花崗岩の一枚岩の上を400mにわたって水が流れるように流れる。



三条の滝

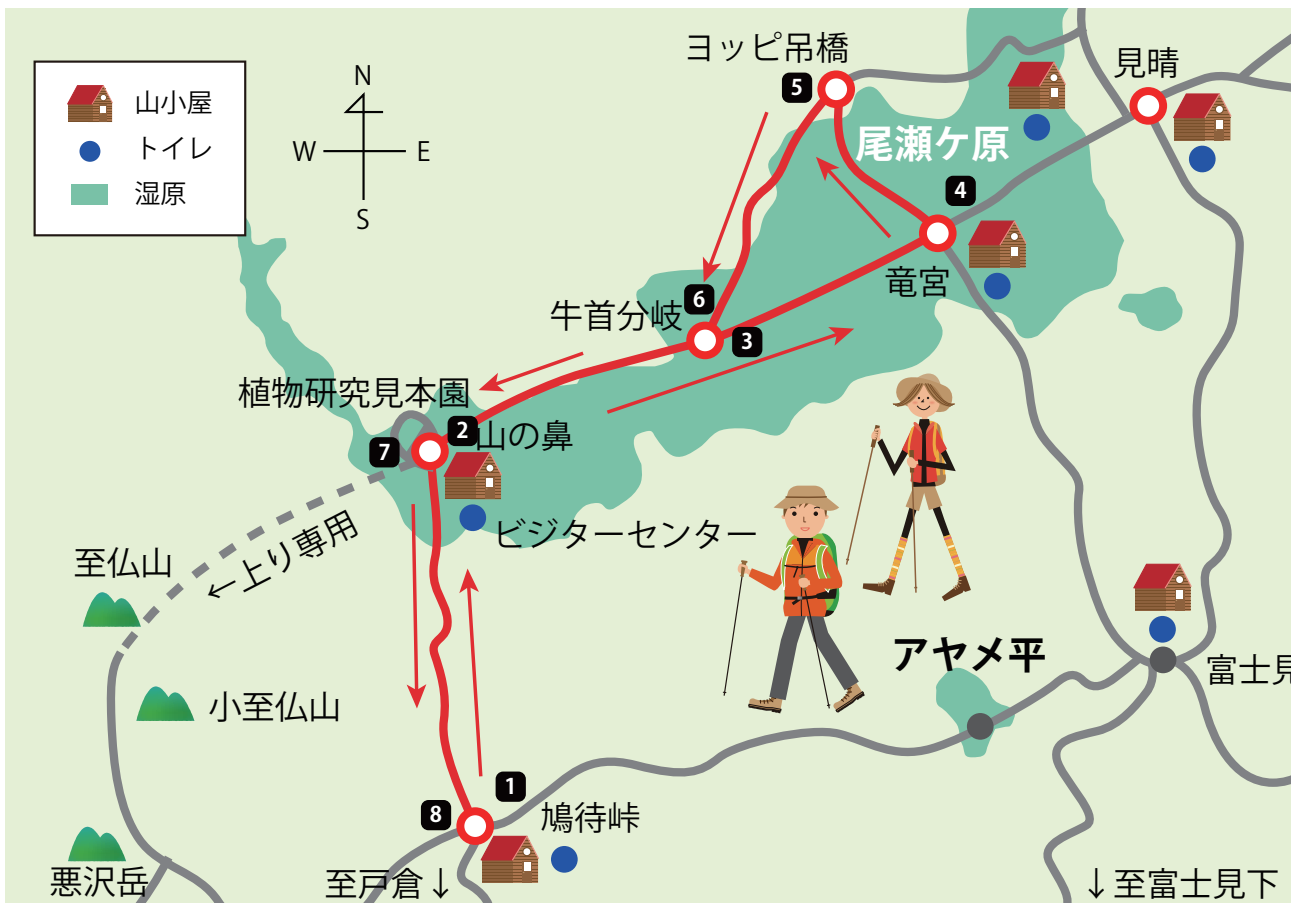
平滑ノ滝の少し下流にある壮大な滝で、登山道から少し下ったところにある展望台からその姿を見ることが出来ます。水流が崖上から噴出し、垂直に落下する瀑布で、特有の轟音と水煙が舞い上がります。

尾瀬ハイキングマップ

お手軽コース (所要時間約3時間30分、約9km) 難易度: ★★☆☆



定番コース (所要時間約6時間30分、約17km) 難易度: ★★☆☆

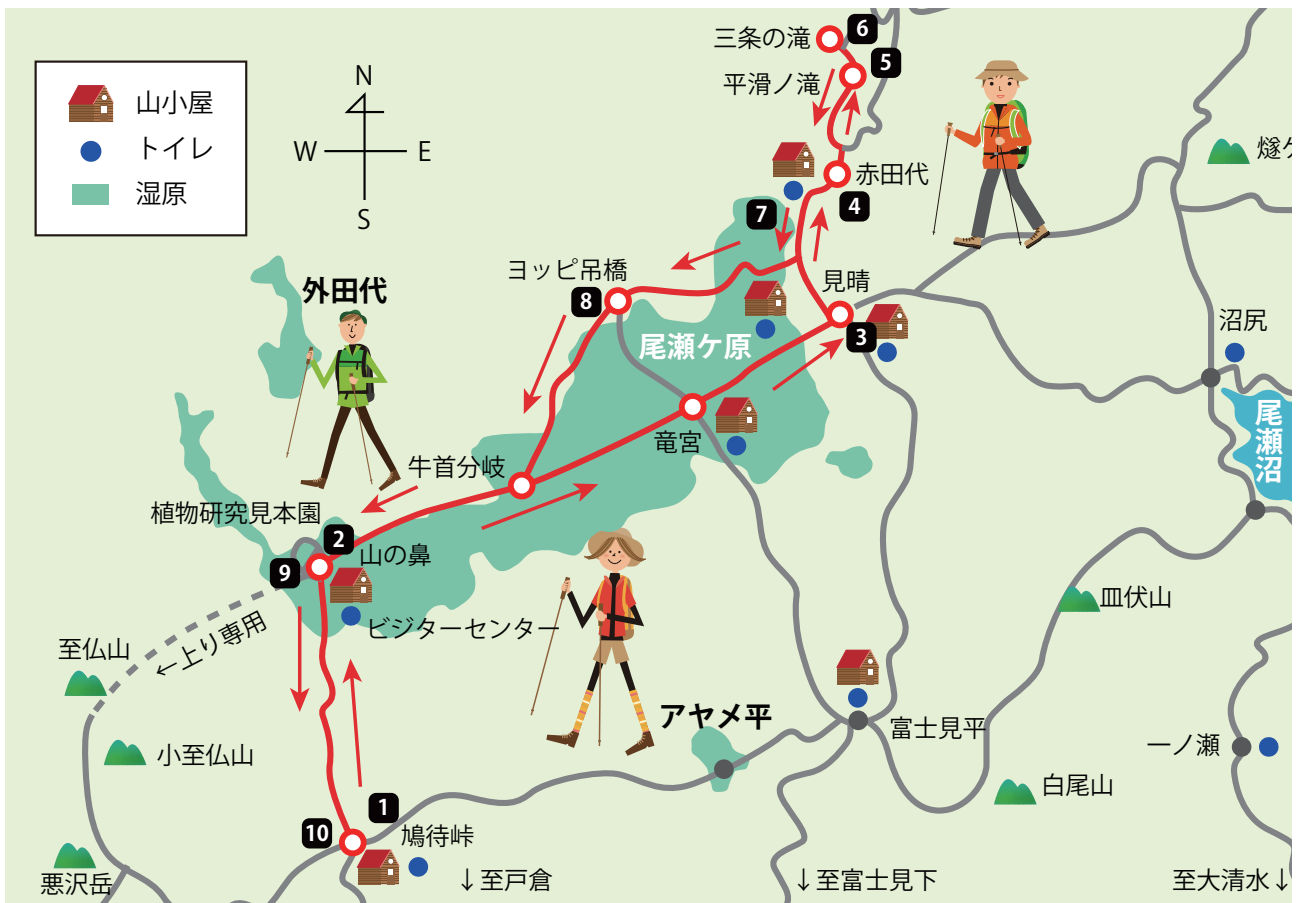


尾瀬ハイキングマップ

よくばりコース (所要時間約7時間30分、約20km) 難易度: ★★☆☆



経験者向けコース (所要時間約10時間、約26km) 難易度: ★★★☆☆



尾瀬ハイキングマップ

花の宝庫・至仏山コース (所要時間約6時間30分、約11km) 難易度:★★★★

